

いじめのない落語の世界より 立川談慶師匠来校

形式統合 50周年記念事業第一弾は立川談慶師匠（たてかわだんけいししょう）をお招きした人権講演会。北信圏域は感染警戒レベルが1に下がった状況でしたが、計画通り低学年、中学年、高学年の3分散開催、各会20分設定で、高座との距離を十分確保して、生の落語「寿限無」とその喩の人権的な意味についてお話をお聞きしました。



談慶師匠をお招きした、この「慶」事に先立って、給食では「宇和島産『真鯛（まだい）』の蜜柑ソース絡め」が提供されました。「めでたい」ことが重なりました。「たいら」「平」を語源とする「鯛」を食して、いじめのない落語の世界のお話をお聞きして、なかよし旬間中の学習が一層深まりました。参観いただいた保護者の皆様には、来校方法や密を避けた校舎内の行動などご配慮いただきありがとうございます。

2年ぶりにプール稼働！ プールでも輝く治田の子ども

水泳は、正式には体育の教科学習のなかの一つ、「水泳運動」の勉強の時間のことを言います。学習するときに「水」の性質や特徴が分かっていると、命にかかわる事故にもつながります。

水に上手に浮かんだり、空気よりも重い水の中で、手で水をかいたり、足でキックしたりすると水の中で前に進むことができます。また人間は水の中では呼吸できませんので、息つぎの仕方などを勉強して水の中でも、続けて運動できるように勉強していきます。低学年は「水の中を移動する運動遊び」や、水に「もぐったり・浮いたりする運動遊び」に挑戦しています。高学年は、クロールや平泳ぎの泳法をわずかの期間でマスターしなくてはなりません。プール納めの日(7/20)が近づいてきました。コロナ禍中ですので最後まで健康管理を徹底し、三密を回避するルールを守って、学習を進めます。 ※写真は6/15 プール清掃の様子。





人はなぜ山に登るのか。・・・そこに三峯山があるから。

みつみねやま

7/6（火）梅雨の直中ではありましたが、5年生が三峯山登山を行いました。海拔「**393m**」の自校を出発、バスで標高「**860m**」の大池キャンプ場まで移動。ここからはマスクを外して、クラス毎に隊列を作って、途中霧も漂う林間を黙々と歩き、見えないゴールを目指しました。目的地は標高「**1131m**」の三峯山南峰の頂。天気が味方してくれて、さわやかな山頂の空気を吸い込み、マスクを外して思わず「ヤッホー」の声を発する子もいました。熱中症の心配もなく、雨合羽を使うこともありませんでした。励ましの声を掛け合う素晴らしい仲間たちが、団結して一つの行事を成し遂げました。

治田小学校 開校 50 周年。50 歳おめでとう ∞ 50 年ありがとう。

時代は航空写真からドローン撮影の時代へ 50 周年記念事業第二弾

治田小では節目となる周年事業のたびに「航空写真」を撮影してきました。1981年（10周年）、1991年（20周年）、2001年（30周年*下写真）、2006年、2009年に撮影されたカラー写真パネルが職員室前掲示板に飾られています。（いずれも大分色褪せてしまっていますが）。

今回「**50周年**」の節目となる撮影が7/12（月）に行われ、初の「ドローン」による空撮となりました。児童、職員全員で赤や青などの指定のカラー・ボードを頭上掲げて、校庭の指定の場所に立って、写真の撮影に臨みました。仕上がりが楽しみです。



保護者の皆様にはお子様の検温、マスクの用意など毎日の健康管理を通して、コロナ禍における安心・安全な学校運営にご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。「変異ウイルス」「第五波」といったキーワードからも依然として油断できない状況にあることを理解しなくてはなりません。オリンピック開催に合わせて例年より早い夏休み入り（7月22日から）となりますが、引き続き新型コロナウイルス感染予防にご留意ください。2学期始業は8月20日（金）です。